

日本共産党 創立97周年を祝う会に130人参加

紙智子参院議員が記念講話

千田みつ子県会議員・小沢昌記奥州市長・高橋光夫元水沢市長があいさつ

民報
おうしゅう

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049



紙智子参院議員

千田みつ子県会議員

小沢昌記奥州市長

高橋光夫元水沢市長

紙智子参院議員が国政報告

日本共産党奥州市委員会主催の「日本共産党創立97周年を祝う会」と「県議選の勝利報告会」が、10月5日、市内のホテルで開催され、130人が参加しました。

祝う会では、紙智子参院議員が、千田美津子県議の再選を祝うとともに国政報告等を行いました。紙議員は「先の参院選挙でみなさんのご支援で4選を果たすことができました。」と感謝を述べ、参院選挙の最大の成果は野党共闘の前進であり、安倍政権を改憲に必要な3分の2にしなかったことだ。などと述べました。また、「通常国会冒頭解散も言われている中で、次の衆院選で、野党共闘をさらに発展させ、野党連合政権を実現しよう。」と訴えました。

千田美津子県議があいさつ

また、千田美津子県議が、厳しい県議選を勝ち抜いたことへの感謝と、2期目のぞむ決意を述べました。



厚労省の病院統合問題で水沢病院事業管理者と懇談



10月7日、千田美津子県議と日本共産党奥州市議団は、地域医療の課題や医師確保の現状等について、総合水沢病院の岩村正明奥州市病院事業管理者と懇談しました。**厚労省は財界と財務省を向いている**

……岩村正明事業管理者

先日、厚生労働省が病床削減の目標達成ありきで、統合再編の議論が必要とした公立・公的病院の実名424病院を公表しました。奥州市内では総合水沢病院、まごころ病院、県立江刺病

新就農者支援事業費は削減でなく増額を

水沢病院では、2名の医師の増加で、7月より救急車の受け入れを再開し、地域医療に貢献しています。医師のチームワークも良好とのこと。新しい病院事業管理者と院長のもと、水沢病院の経営環境の改善が感じられました。

小沢昌記奥州市長が県議選勝利等への祝辞

来賓として出席された小沢昌記奥州市長は、千田みつ子さんの市議当時の活躍を紹介しながら、県議再選等への祝辞を述べました。

高橋光夫元水沢市長が祝辞と乾杯の発声

高橋光夫元水沢市長は、千田県議のお父さん（故千田善治氏）と市議が同期だったことなどを紹介し、千田美津子県議の再選を祝い、今後の活躍期待して乾杯の発声を行いました。

国が昨年度比20億円の予算削減

奥州市は400万円の財源不足となりわけ、国が新規就農者支援事業関連予算を、今年度は昨年度比20億円も削減したことに、

共産党は国・県・市政で対応を要望

これに対し紙智子参院議員は、「全国から就農支援への不安の声が多く上がってきている。農水省と交渉し減らすべきでない、むしろ上乗せするべきと強く要望している。」と話しました。また奥州市議会でも、9月議会会で及川善男議員等、複数の議員が市当局の対応を求めました。

